

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月14日

大分県知事  
佐藤 樹一郎 殿



提出者

住 所 大分県臼杵市大字大野160番外  
氏 名 二豊醤油協業組合 代表理事 渡邊規生  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0972-63-3221

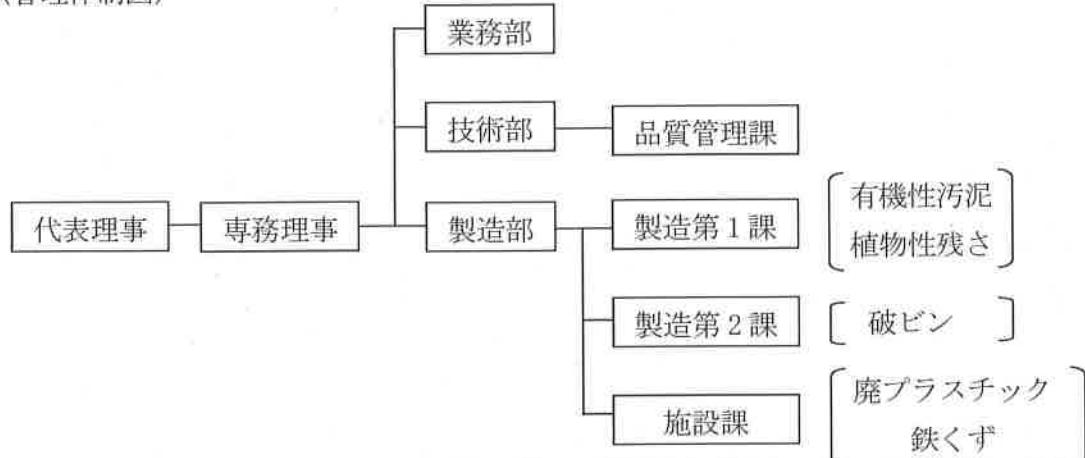
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	二豊醤油協業組合
事業場の所在地	大分県臼杵市大字大野160番外
計画期間	令和6年4月～令和7年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	14.18億円
③従業員数	47名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	有機性汚泥 → 処理業者へ処理委託 → 堆肥化 → 肥料 植物性残さ → 再生利用業者へ処理委託 → 飼料 プラスチック → 処理業者へ処理委託 → プラスチック原材料 鉄くず → 処理業者へ処理委託 → 鉄原材料 破ビン → 処理業者へ処理委託 → 埋め立て

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
産業廃棄物の種類	有機性汚泥
排 出 量	4393.9 t
(これまでに実施した取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の安定管理</li> <li>・工場内から排出される汚水の水質、水量低減</li> <li>・製品濾過機更新による高濃度汚水の水量低減</li> </ul>	
【目標】	
産業廃棄物の種類	有機性汚泥
排 出 量	4300 t
(今後実施する予定の取組)	
特になし	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用設備で分別処理</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状維持</li> </ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類 有機性汚泥
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 0 t t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類 有機性汚泥
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 0 t t
(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類 有機性汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 0 t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 3877 t t
(これまでに実施した取組)	
汚泥脱水設備の導入	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類 有機性汚泥
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 0 t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 3900 t t
(今後実施する予定の取組)	
現状維持	

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		0 t	t
(これまでに実施した取組)				
② 計画		【目標】		
		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		0 t	t
(今後実施する予定の取組)				

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

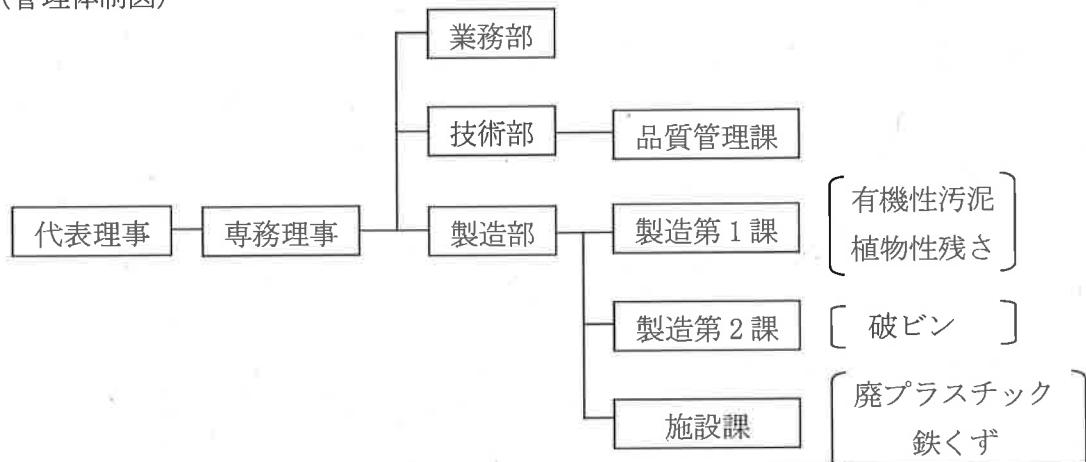
		【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
① 現状	全処理委託量		516.9 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		516.9 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		0 t	t
(これまでに実施した取組)				

【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	有機性汚泥
	全処理委託量	400 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	400 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
(今後実施する予定の取組)		
高分子凝集剤の再選定		
※事務処理欄		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	排 出 量	353.8 t <th>t</th>	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	排 出 量	320 t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用タンクで分別処理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
② 計画	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
② 計画	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

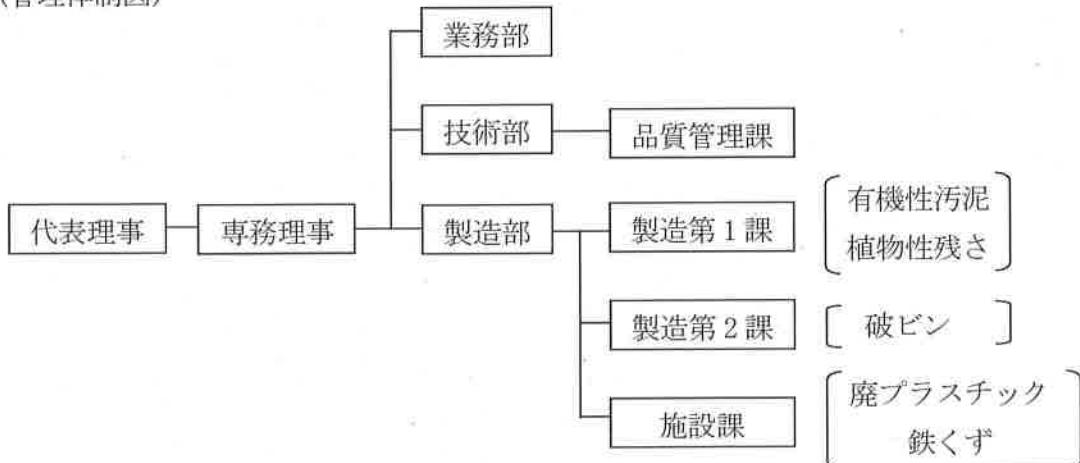
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	全処理委託量	353.8 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	353.8 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】		
産業廃棄物の種類	植物性残さ	
全処理委託量	320 t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
再生利用業者への 処理委託量	320 t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	排 出 量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			・ステンレス設備への計画的更新
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	排 出 量	20 t	2.5 t
(今後実施する予定の取組)			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用ヤードで分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
② 計画	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
② 計画	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
② 計画	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら熱回収を行いう 産業廃棄物の量	0 t	0 t
② 計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
① 現状		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)				
		【目標】		
② 計画		産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)				

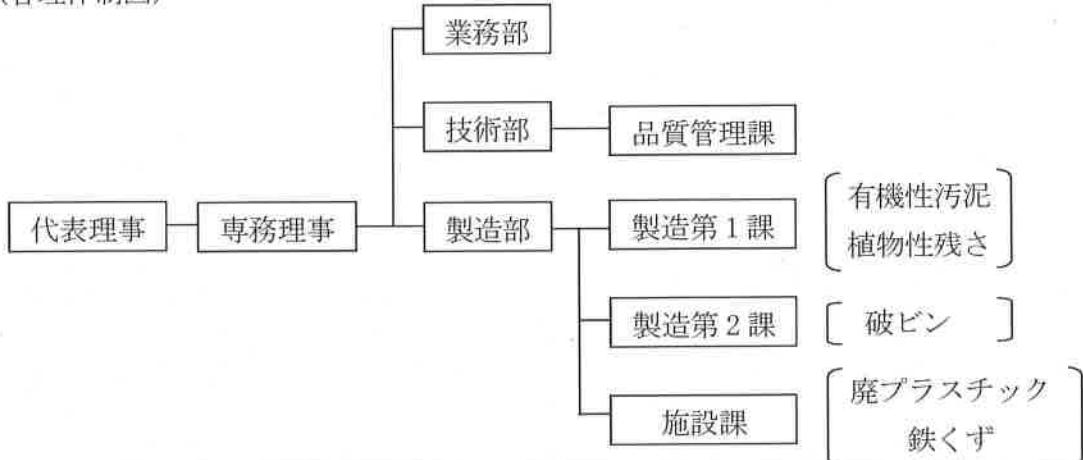
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
① 現状		全処理委託量	0 t	0 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
		再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組)				

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
②計画	全処理委託量		20 t	2.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量		0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		0 t	t
(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄				

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】	
産業廃棄物の種類	破ビン
排出量	0.3 t
① 現状 (これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	破ビン
排出量	0.2 t
② 計画 (今後実施する予定の取組)	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用ヤードで分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】		
① 現状	産業廃棄物の種類	破ビン
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	破ビン
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t
(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】		
① 現状	産業廃棄物の種類	破ビン
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t
② 計画	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組)	
【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	破ビン
	自ら熱回収を行いう 産業廃棄物の量	0 t
② 計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】			
② 計画	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
① 現状	産業廃棄物の種類	破ビン	
	全処理委託量	0.3 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】		
産業廃棄物の種類	破ビン	
全処理委託量	0 t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		